

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 7 月 16 日 (2020.7.16)

【公開番号】特開 2020-49249 (P2020-49249A)

【公開日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【年通号数】公開・登録公報 2020-013

【出願番号】特願 2019-224403 (P2019-224403)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 21 日 (2020.5.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技窓を有する扉枠と、

遊技領域の下方で前方へ膨出する皿ユニットと、

前記皿ユニットに設けられ、遊技球を貯留可能な上皿部と、

前記皿ユニットに収容され、遊技者による操作を受付可能な操作手段と、を備え、

前記皿ユニットは、前記扉枠の下部となる底辺部を有しており、

前記操作手段は、前記上皿部の下側にまで跨り、かつ、前記底辺部の近傍にまで亘る大きさを有しており、

前記操作手段が前記皿ユニットに収容された状態において、前記底辺部と前記操作手段との間に空間を有し、

振動を与えることが可能な振動手段が前記操作手段に設けられており、

前記振動手段は、前記上皿部よりも前記底辺部に近い位置に設けられている

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

パチンコ機等の遊技機は、遊技者の操作によって所定の遊技が行われる遊技領域を有しており、遊技領域内で行われる遊技の進行状況（遊技状態）に応じて、遊技者に所定の演出を提示することで、遊技者を楽しませて飽きさせ難くしている。

この種の遊技機として、遊技領域の下方において前方に膨出している膨出部の上面に、遊技を行うための遊技操作部を設け、所定の演出として、遊技者が遊技操作部を操作することで演出に参加することが可能な遊技者参加型演出を実行するものが提案されている（例えば、特許文献 1）。これら特許文献 1 の技術によれば、遊技者参加型演出が実行された時に、遊技者が遊技操作部を操作すると、その操作に応じて演出の内容が変化するため、遊技者を楽しませることができ、遊技者を飽きさせ難くすることができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2014-151076号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特許文献1の技術では、上皿本体に操作ユニット取付部を備え、操作ユニット取付部に対して操作ユニットを嵌め込むことによってダイヤル操作部及び押圧操作部を設置しているため、設置可能な操作ユニットの大きさには限界があった。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記の実情に鑑み、操作ユニットを設置するスペースを確保し、遊技者に操作部を操作させて遊技者参加型演出を楽しませることが可能な遊技機の提供を課題とする

。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決するために、本願発明は、
遊技窓を有する扉枠と、
遊技領域の下方で前方へ膨出する皿ユニットと、
前記皿ユニットに設けられ、遊技球を貯留可能な上皿部と、
前記皿ユニットに收容され、遊技者による操作を受付可能な操作手段と、を備え、
前記皿ユニットは、前記扉枠の下部となる底辺部を有しており、
前記操作手段は、前記上皿部の下側にまで跨り、かつ、前記底辺部の近傍にまで亘る大きさを有しており、
前記操作手段が前記皿ユニットに收容された状態において、前記底辺部と前記操作手段との間に空間を有し、
振動を与えることが可能な振動手段が前記操作手段に設けられており、
前記振動手段は、前記上皿部よりも前記底辺部に近い位置に設けられている
ことを特徴とする。

また、上記発明とは別に以下の手段を採用してもよい。

上述した目的を達成するため、本発明は、始動条件が成立すると、その後所定の内部抽選を実行し、前記内部抽選に当選している場合に遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させる遊技制御部と、外部から操作しうる操作部と、前記始動条件が成立すると、その後所定の演出抽選を実行し、前記演出抽選の結果に応じて複数の演出態様のうちから選択したいずれかの演出態様で演出動作を制御する一方、前記操作部の操作に応じて前記演出装置の出力態様を調整する演出制御部と、遊技媒体の払出動作を実行する払出部と、前記

演出制御部の制御によって前記選択された演出態様の演出動作を実行する演出装置と、を備え、前記演出制御部は、前記操作部に操作によって前記演出装置の出力状態を最大状態から引き下げるように調整済みである場合、前記演出装置の出力状態を抑制しうる特定の演出態様への切り替えを抑える一方、前記操作部によって前記演出装置の出力状態を最大状態から引き下げるように調整済みでない場合、前記演出装置の出力状態に応じて前記演出装置の出力状態を抑制しうる特定の演出態様に切り替えることを特徴とする。なお、以下の説明では、前記演出装置の出力状態に応じて前記演出装置の出力状態を抑制しうる特定の演出態様に切り替えることを「抑制演出制御」ともいう。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、操作ユニットを配置するスペースを十分に確保することで今までにな
い操作部を提供することで遊技者に操作部を操作させて遊技者参加型演出を楽しませるこ
とが可能な遊技機を提供することができる。